

ごみ減量・3R活動優良事業所 取組内容

<取組内容>

(記入日 平成25年10月22日)

事業所名	国立大学法人京都工芸繊維大学	認定番号	2501001
所在地	京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地		
取組内容	リデュース (発生抑制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の削減・分別収集システムを構築して運用。</li> <li>・EMSで紙使用量の削減目標値を設定(1%減/年)。</li> <li>・両面コピーおよび不要紙の裏面利用の推進。</li> <li>・伝達手段などのペーパーレス化(電子メールの利用など)。</li> </ul>	
	リユース (再使用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済みコピー用紙など裏紙利用。</li> <li>・「物品リユースシステム」により、不要物品等のリユース情報を学内に周知し、再利用。</li> <li>・毎年11月に古本の無料市「KITぷらっとお持ち帰りフェア」を開催。</li> </ul>	
	リサイクル (再資源化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収リサイクル用のごみ箱を設置(あきびん、あき缶、PETボトル、生活系プラスチック)。</li> <li>・廃棄物集積場で、再資源化できる缶類(飲料缶)、びん類(飲料びん、薬品びん)、PETボトル、生活系プラスチックを分類。生活系プラスチックも80%以上をリサイクル。</li> <li>・PETボトルのふたも回収ー「エコキャップ運動」に協力。</li> <li>・古紙は6種類に分けてリサイクル。</li> <li>・生協など食堂で廃油を回収し、リサイクル。</li> <li>・紙コップを回収し、トイレトペーパーなどにリサイクル。</li> <li>・廃PET自動回収機を設置し、PETリサイクル事業を実施。</li> </ul>	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に新入生オリエンテーション、環境安全教育デーなどでEMSの教育・研修、講演会などを実施。</li> <li>・エコ月間(6月)に公開講演会などを実施。</li> <li>・未利用資源有効活用研究などで未利用の繊維製品、農業・森林資源の活用に関する先端研究を実施(野菜シートやカラフルマグネットバーのリサイクル事業化など)。</li> </ul>	
取組紹介 web ページ	<a href="http://www.kit.ac.jp/01/pdf/2013/kankyo_2013.pdf">http://www.kit.ac.jp/01/pdf/2013/kankyo_2013.pdf</a>		
環境マネジメントの取組等	<p>いずれか消すか、○で囲んでください。</p> <p>ISO14001, エコアクション21, KES(ステップ1・ステップ2)</p> <p>その他( )</p>		

## 取組写真

### 取組①

(写真)



(説明)

- ・1993年に廃棄物の削減、再資源化を目的とした廃棄物処理システムを構築し、運用している。
- ・1994年に左の写真のような新しい廃棄物集積場を設置した。これまでのごみ置場は汚いとイメージを一掃させるため、松ヶ崎キャンパス西部構内のほぼ中央に設置し、廃棄物集積場であることを意識させないデザインとしている。
- ・管理員のいる月、水、金曜日の指定時間のみ廃棄物搬入を可能とし、教職員、学生は指定の透明袋に識別番号を記入して持ち込み、受付で記帳して指定の場所に搬入することになっている。

### 取組②

(写真)



(説明)

- ・資源回収リサイクル用のごみ箱を大学構内に設置し、資源を有効利用するため、教職員、学生全員で取り組んでいる。
- ・缶類（アルミ・スチール）、びん類（飲料びん・薬品びん）、PET ボトル、生活系プラスチック類をリサイクルしている。
- ・PET ボトルのふたも別に回収して「エコキャップ」運動に協力している。
- ・生協にはPET ボトルの自動回収機を設置している。

### 取組③

(写真)



(説明)

- ・古紙は、2013年からは雑紙も分類に追加し、6種類に分別収集している。  
①新聞、②白上質紙、③段ボールなど、  
④新聞折り込み広告、カタログなど、⑤シュレッダーダスト紙、⑥雑紙（メモ用紙など）
- ・分別収集した古紙は、廃棄物集積場内の古紙置き場に分類ごとに搬入することになっている。